

ラジオ番組制作における語り手のための感性支援インタラクションシステムの研究

代表研究者	横山美和	東京大学大学院工学系研究科	先端学際工学専攻博士課程
共同研究者	岡 伸人	東京大学大学院工学系研究科	システム量子工学専攻博士課程
"	黒木裕輔	東京大学大学院工学系研究科	環境海洋工学専攻修士課程
"	畠山智宏	国立宮城工業高等専門学校	情報デザイン学科助手
"	井上智史	武蔵野美術大学	デザイン情報学科助手

目 的

現在、我が国の放送形態は完全デジタル化を前に急速に多チャンネル化が進んできている。そこでの制作側の問題は、慢性的なコンテンツ不足、人材不足、資金不足といった問題であるのは言うまでもない。そのため、本研究では、ラジオ番組制作者が創造活動を行う環境において、これまでに制作されたラジオ番組の進行表や台本などのあらゆる文書データを再利用することで、新たなコンテンツ生成に向けての制作者の内省的思考活動の促進を支援するシステムを構築した。

方 法

初めに、収集可能であったラジオ番組台本、述べ 938 本の台本をテキストとして捉え、テキスト分析の理論を用いてその中で特徴となる要素を抽出した。第二に、制作者の内省を分析するために定性的な観察実験とインタビューを行った。対象はラジオ番組制作とし、観察実験ではプロの番組制作者を被験者とした。次に、その結果に基づき、番組制作の創造活動における基礎的な構造を明確化し、計算機上にシステムを構築した。

結 果

プロの番組制作者の思考過程には、放送月や時間帯の他、各枠のテーマが主たる要因となって、番組の内容を創り上げていることがわかった。また、番組の内容は、言語表現の粒度により 5 種類の意味属性 (Season/Symbol/Location/Event/Imagery) に分けることはできた。それらを用いて、ラジオ番組制作者のための創造支援システム "miwa radio" (Multimedia Information Wizard Application for Radio program design by Knowledge Nebula Crystallizer) を構築した。"miwa radio" は得られた文書データを液状化の定義に従って取り込み、結晶化の定義に従いユーザである番組制作者に提示することで創造過程を支援する。観察実験の分析結果およびプロの番組制作者との議論を通して、システムの有効性の検討を行った。本研究はラジオ番組制作者の創造過程を支援するための方法およびシステムのあり方についてのひとつの方向性を与えたと考える。

参考文献

- 1) Koichi Hori, Kumiyo Nakakoji, Yasuhiro Yamamoto, and Jonathan Ostwald
"Organic Perspectives of Knowledge Management: Knowledge Evolution through a Cycle of Knowledge Liquidization and Crystallization,"
Journal of Universal Computer Science, Vol. 10, No.3, 2004.
- 2) 網谷重紀、森幹彦、柴田博仁、庄司裕子、堀浩一
"イベント設計における知識創出のための方法論と知識再構築支援システムに関する研究"
日本知能情報ファジィ学会誌, Vol. 15, No.3, pp.286-296, 2003.

研究発表

横山美和, 田中克明, 赤石美奈, 堀浩一:

「番組制作におけるコンテンツ生成支援に関する一手法～制作者の内省的思考を促す創造支援システム～」, 映像情報メディア学会誌 Vol.59, No.5 (2005)

横山美和，田中克明，赤石美奈，堀浩一：

「番組制作者の内省的思考を促す創造支援システム」，人工知能学会主催第 18 回ことば工学研究会，2004 年 11 月．

横山美和，田中克明，赤石美奈，堀浩一：

「ラジオ番組制作におけるコンテンツ生成支援システム -- シナリオ創発の実践例 -- 」，第 3 回シナリオ創発ワークショップ，2004 年 9 月．

横山美和，堀浩一：

「知識の液状化と結晶化の方法論を用いたラジオ番組制作のための創造支援システムに関する研究」，第 18 回人工知能学会全国大会，石川厚生年金会館，2004 年 5 月．

横山美和，堀浩一：

「知識の液状化と結晶化の方法論を用いたラジオ番組制作のための企画支援システムに関する研究」，人工知能学会主催第 16 回ことば工学研究会，2004 年 3 月．

Miwa Yokoyama, Katsuaki Tanaka, Mina Akaishi and Koichi Hori,

``Towards a supporting system for amplifying reflective thinking of program creators", PRICAI-04 Workshop on Language Sense on Computer, pp. 55-64, 2004.

連絡先

miwa@ai.rcast.u-tokyo.ac.jp